

自治体の発展（1/2）

～戦後から昭和37年までの唐津～

■終戦当時の市制

終戦当時の市長は、旧制の岸川善太郎氏であった。唐津市は幸い戦災からまぬがれたが、全国各地に共通する食糧危機や敗戦の虚脱のための民心は極度に疲労していた。市政の重点は、平時態勢への移行と民生の安定に主力をおき、食糧増産および生活必需物資の確保であった。

■清水市政時代

昭和22年4月、全国一斉に、市町村長と知事の選挙が行われた。唐津市初代公選市長は、前市会議長の清水荘次郎氏である。清水氏は、その後、8年間市政を担うこととなる。公選第1代の市長となった清水氏は、占領政治の中で困難な終戦処理ととりくみ、また、都市的形態の整備に主力をそそぎ、港湾、街路、橋梁、学校等の新設整備、および、産業、観光の振興、民生の安定に努力をはらった。民生の安定としては、外地の引揚者や食糧事情のよかった当地への移住する人などで、著しく住宅が不足していた。そこで、その一環として、昭和22年より逐次、市営住宅建設となり、これは、その後も続く。また、港湾の整備を清水市長は重点とし、関係機関に陳情。その結果、昭和24年から唐津港5か年計画がとりあげられ、漁港、商港、石炭積出港として整備され、唐津港の面目は一新される。昭和28年5月には、舞鶴橋が完工している。昭和29年5月には、天皇陛下の御来唐。舞鶴公園から初夏の松浦潟を眺められ「なかなかよいところだね。」と賜った。

～2/2へつづく～

分野 歴史

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

◎引用・参考文献（出典）

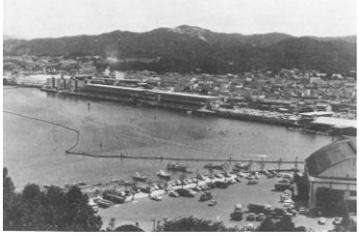
◆『唐津市史』
※「産業」の部「唐津競艇場」を参照

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html

<h2 style="text-align: center;">自治体の発展（2/2）</h2> <p style="text-align: center;">～戦後から昭和37年までの唐津～</p>	分野	歴史
	地域	全域
<p>～1/2からつづく～</p> <p>■金子市政時代</p> <p>昭和30年の市長選挙で、前県議会議員で昭和バス社長の金子道雄氏が当選し、第2代の市長となる。市政の2点を①明朗、清潔、平和でかつ民主的な行政の確立 ②健全財政の確立とし、遂行にあたった。就任当初から、極度に逼迫した市財政の建直しを図った。当時、市財政は、1億8,400万円の巨額の赤字と、4村合併時の条件による事業とで、ときには、職員の給料日の前日にやっと資金手当てができたこともあった。この解消のため、議会で論議し、昭和31年、国の地方財政再建促進特別措置法の適用を受けることとした。また、競艇の収益金をすべて事業財源にあてることとし、その後の困難をも経て健全化していく。</p> <p>昭和31年には、玄海国定公園の指定を受ける。</p> <p>昭和32年には、上水道の水源を鉱害汚染された松浦川から、新たに玉島川を第2水源とし、この年に完成した。</p> <p>昭和33年3月には、県下随一を誇る体育館が舞鶴公園下にできた。4月の落成式には、オリンピック選手招待体操演技やのどじまん大会、体育館外では、自衛隊音楽隊の市中行進、仮装した佐用姫の巡行、祝賀飛行など、2日間に延べ1万6千人で、さしもの体育館も立すいの余地がない盛況であった。</p>	◎地図・写真・統計資料など	
	 <p style="text-align: center;">昭和40年頃の旧競艇場 （『ふるさとの思い出写真集 明治・大正・昭和』より）</p> <p style="text-align: center;">◎引用・参考文献（出典）</p> <p>◆『唐津市史』 ※「産業」の部「唐津競艇場」を参照</p>	
<p>◎エピソード・伝承・うんちく など</p> <p>■終戦の時、進駐軍がくる。アメリカ兵が来る。アメリカ兵は、「男は殺し、女は辱しめをうける。」という、噂がながれ、市民のなかには、とりあえず身の回りの物を持って、山の方へ、親戚や知人をたよって逃げ出した者もいたという。</p> <p>■その後、何もしないとわかると、子供のなかには、アメリカ兵をみると、「アイアム、ハングリー。チョコレート。」と、ねだるものもいた。</p>	<p>◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>	
		<p>◇唐津の魅力継承事業◇</p>